

2014年世界選手権レポート (14)

オランダ・アムステルダム



写真 1. Final C へ向け艇を蹴りだすLM4- (伊藤選手 (NTT東日本)、小林選手、田立選手 (ともに戸田中央総合病院RC)、片岡選手 (明治安田生命))

8月30日

世界選手権 7日目

世界選手権7日目です。今日は雨が降ったり、晴れたりのオランダらしい天気でした。レース時の気温は16度、順風の中、行われました。今日は日本チームの最後のレースです。LM4-のFinal Cの様をお伝えします。

#246 11:15 (日本時間18:15) LM4- Final C
CAN, JPN, RUS, CHI



写真 2. LM4-の伊藤選手 (NTT東日本)、小林選手、田立選手 (ともに戸田中央総合病院RC)、片岡選手 (明治安田生命)

ストロークから伊藤選手 (NTT東日本)、小林選手、田立選手 (ともに戸田中央総合病院RC)、そして、バウの片岡選手 (明治安田生命) です。日本チームは積極的なレースを誓い出艇しました。



写真 6. 1500m付近のLM4-（伊藤選手（NTT東日本）、小林選手、田立選手（ともに戸田中央総合病院RC）、片岡選手（明治安田生命））

その誓い通り、500mをトップで通過します。この時点でのストロークレートは44。その後も終始ストロークレート40以上のハイスピードなレースを展開します。1000m付近で、後ろにつけていたロシア、カナダがあがってきます。1250m付近でロシア、カナダにかわされ3位に。1500mでトップまで半艇身の大接戦を演じま



写真 4. ゴール直後のLM4-（伊藤選手（NTT東日本）、小林選手、田立選手（ともに戸田中央総合病院RC）、片岡選手（明治安田生命））

す。ここで田立選手がコールを入れ、4人でトップを狙います。1750m地点でも情勢は変わらず3位のまま。その後、さらにペースをあげますが、叶わず3位でゴール。勇敢なレースをしてくれました。最終順位は15位となりました。

本日をもって2014年の日本チームのシニア世界選手権は終わりました。温かいご声援ありがとうございました。ここから着実にステップアップしていきます。ステップアップしていく姿を見守ってくださるとありがたいです。

また、期間中、FacebookのCrew Japanページに多くの「いいね！」をありがとうございます。この1週間でCrew Japanに「いいね！」をいただいた数は急増し、LM2-のFinal C終了後の記事には、掲載後半日で5000人の方にご覧いただけました。

今後も、FacebookのCrew Japanページでは、強化合宿や選考会の様子を合宿開催中はほぼ毎日配信する予定です。日本代表チームが出場する国際レースにおいては、今回同様、リアルタイムに近い形での発信を続けます。Crew Japanページへの「いいね！」をよろしくお願い致します。

レースの詳しい結果はWorld RowingのHPでご確認ください。

ご声援ありがとうございました！



30.08.2014@Amsterdam, Holland